

例：カウルを洗う



原液ボトルから、トリガー付ボトルの任意の ◀ ラインまで原液を注ぎます。



説明ではカウルで使用するため、30倍希釈の ◀ ラインまで原液を注ぎます。

Check! こびりついた虫汚れは5倍希釈が最適です。



▲ラインまで水を注ぎ、トリガー式キャップを装着します。

純水、水道水、ミネラル水と、どれをご使用されても構いません。



「ON」表示のあるボタンを押します。



カウルに向けて適量をスプレーします。
※一回のスプレーで、トリガーを最後まで引き切ってください。
※全体的に液が均等に行き渡るくらいが目安です。



カウル表面に砂が浮いている場合は、多めにスプレーするか、事前に水で流すことをオススメします。



30秒ほどすると、汚れが浮き上がってきますので、綺麗なクロスで拭き取ります。



30秒は目安です。
乾ききる前に拭き取ってください。

Check! 拭き取らず、水で洗い流すことも可能です。



カウル洗浄完了です。



汚れが落ちない場合は、希釈率を上げて使用してください。



希釈後の保存期間について
希釈後の時間経過でケミカルの性能が大きく変わる事はありません。
ただし、一般的な洗浄剤と異なり「防錆剤」を含んでおりませんので、カビなどが発生した場合は、ご使用をお止めください。



アルマイトされたアルミパーツやガラスコートされたボディは、使用前に目立たない箇所でお試しく下さい。

パーツ状態によっては、色落ちが生じます。

番外編

自然界の成分で出来ているので、手を洗うことにも使用できます。
ただし、アルカリ性のため、必ず水で洗い流してください。